



TOO MUCH AT STAKE

元手1万ドル、残金わずか120ドル
スポーツ賭博の“体験取材”のはずが……
自ら沼にハマった記者の衝撃ルポ

スマホで手軽にオンライン賭博ができる現代アメリカ。とりわけ、アメフトやバスケットボール、野球などを対象とするスポーツ賭博には老若男女が熱中し、今や巨大な市場規模を誇る。その熱狂の実態を検証すべく、米アトランティック誌の記者が会社から与えられた1万ドルを元手に自らギャンブルの世界へ飛び込んだ。しかし、「体験取材」のはずが、記者は瞬間に依存の沼へと引きずり込まれていく。自制心を失っていく生々しい過程と、政治や戦争すら賭けの対象となりうるような現代社会の「狂気」に警鐘を鳴らす迫真のインタビュー。



インタビューア

ミシェル・マーティン

米ニューヨーク州ブルックリン出身のジャーナリスト。1992年にABCに入局し、テレビ報道の経験を積む。2007年からNPR(米国公共ラジオ放送)で自身のニュース番組「Tell Me More」のホストを務めた。2018年から、クリスティアン・アマンプール主宰の番組「Amanpour & Company」に加わっている。

ゲスト

マッケイ・コピンス

米マサチューセッツ州ホリiston出身のジャーナリスト兼作家。雑誌「The Atlantic」のスタッフライターを務める。主にアメリカの政治と宗教、特に共和党の内部動向や保守派に関する緻密な取材報道で高く評価されている。2023年には、ミット・ロムニー上院議員の伝記「Romney: A Reckoning」を出版し、大きな話題を呼んだ。



Listening Quiz

59 米国で人気沸騰のスポーツ賭博をジャーナリストが体験取材



Michel Martin The *Atlantic* spotted you some dough and said, “Gamble this, become part of this world, and see how it goes.” You write that since legalization in 2018, Americans have wagered more than half a trillion dollars on sports and roughly half of men aged 18 to 49 have online-betting accounts. Why is that?



McKay Coppins There were a bunch of things that changed kind of all at once in the last decade. And I think it's easy to forget that this new kind of Wild West era we're in* is very new. As of 10 years ago, people were gambling around \$5 billion a year on sports legally. Last year, it was \$160 billion. The average person, if they wanted to gamble on sports, either had to go to Las Vegas or one of a handful of other jurisdictions where it was allowed, or they had to seek out a bookie or call an offshore sportsbook in Antigua* and, you know, really put some work in.

What's changed is that once states started to legalize it, the online sportsbooks just exploded in popularity. All of a sudden, almost overnight, we took what was widely seen as a pretty dangerous vice that should be regulated and stigmatized and put it on everyone's phone and eliminated all the friction that once existed to access that vice. One statistic I came across that I thought was really alarming was that almost a third of 11-year-old boys say that they have gambled in the past year in America.

(be) at stake:

《タイトル》懸(賭)かっている

spot A B:

《話》AにB(金銭)を貸す

dough:

《話》金、現ナマ

wager:

①《wager A on B》A(金銭など)をBに賭ける ②賭け、賭け金

online betting:

オンライン賭博

all at once:

一斉に、いっぺんに

a handful of:

一握りの、少数の

jurisdiction:

管轄区、司法管区

seek out:

～を探し出す、見つけ出す

bookie:

= bookmaker ブックメーカー、胴元、賭け屋

offshore:

海外の、オフショアの

sportsbook:

スポーツ賭博の運営会社、ブックメーカー(のサイト)

explode:

爆発的に増加する、急増する

vice:

悪、悪癖、悪徳

stigmatize:

～に汚名を着せる

eliminate:

～を排除する、取り除く

friction:

摩擦(力)、摩擦力による抵抗

statistic:

統計、統計の数字

come across:

～に出くわす、～を見つかる

alarming:

不安を感じさせる、憂慮すべき

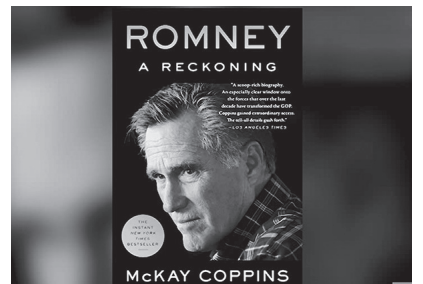


※お聞き苦しい箇所がありますが、放送時のものです。ご了承ください。

ミシェル・マーティン アトランティック誌からいくらか資金を渡され、「これを元手に賭けをして、その世界に入り込み、どうなるか試してみてください」と頼まれたのです。あなたは「2018年に合法化されて以来、アメリカ人はスポーツに5000億ドル以上を賭けており、18歳から49歳の男性のおよそ半数がオンライン賭博の口座を持っている」と書いています。なぜそんなことになっているのでしょうか。

マッケイ・コピンズ 過去10年間で、多くの事情がいわば一挙に変化しました。思うに私たちは、自分たちが今経験しているこの無法地帯のような状況が、ごく最近生まれたものだとことを忘れがちです。10年前は、(アメリカで)合法的にスポーツに賭けられていた金額は、年間50億ドルほどでした。去年、その金額は1600億ドルに達しています。(以前は)普通の人々がスポーツ賭博をしたいと思ったら、ラスベガスか、それが許されている数少ない他の管轄区に行くか、あるいは、ブックメーカーを探るか、アンティグア(など)に拠点を置く海外スポーツ・ブックメーカーに電話をかける必要がありました。つまり、かなりの手間暇がかかったのです。

何が変わったかという、各州が合法化し始めた途端、オンライン・スポーツ賭博のブックメーカーが爆発的な人気を得るようになったのです。突然、ほとんど一夜のうちに、これまで「規制され、非難されるべきかなり危険な悪習」として広く認知されてきたものを、私たち(の社会)は誰もが持っているスマートフォンの中に入れて、かつてその悪習にアクセスする際に存在したハードルを全て取り払ってしまったのです。私が見たある統計の数値に、私は愕然^{がくぜん}としました。アメリカでは11歳の男子の3分の1近くが、過去1年間にギャンブルをしたことがある、と答えたとそうです。



マッケイ・コピンズ氏の著書『Romney: A Reckoning』(写真)。元は政治分野で活躍してきた記者だが、今回は「オンラインスポーツ賭博」という新たな領域に足を踏み入れた



「1600億ドル」規模の巨大市場を誇るに至ったスポーツ賭博。背景には、誰もがスマホで参加できる手軽さがあるようだ

■ this new kind of Wild West era we're in
西部開拓時代(1860年代~1890年代頃)のアメリカ西部は、一獲千金を求め人々が殺到する一方で、政府の法整備や治安維持が追いつかない「無法地帯」ともいえる場所だった。こうした歴史的背景から、「新しい技術や市場が急激に拡大し、法律や規制が追いついていない混沌(こんとん)とした状況」を指す比喩として使われることがある。

■ an offshore sportsbook in Antigua
Antigua (= Antigua and Barbuda、アンティグア・バーブダ)は、1990年代からオンラインカジノやブックメーカーなどの「オンラインゲーミング」のライセンス国として知られてきた国。